

# 平成30年度 出雲市職員採用試験

平成31年4月1日採用予定の職員採用試験を次のとおり行います。

◆申込書受付期限／5月15日(火) ◆第1次試験／6月24日(日)

試験の種類	試験区分	採用予定人員	受験資格	
			生年月日 (平成31年4月1日現在の満年齢)	学歴・経験・免許・資格等
大学卒業程度試験	行政	20名程度	平成3年4月2日～平成9年4月1日生まれ (満22歳～27歳)	●学歴は問いません。
	土木技師	若干名	昭和60年4月2日～平成9年4月1日生まれ (満22歳～33歳)	●学歴は問いません。
	建築技師	若干名		
	電気技師	若干名		
	保健師	若干名	昭和60年4月2日～平成9年4月1日生まれ (満22歳～33歳)	●学歴は問いません。 ●保健師免許を有する人(平成31年3月末までに行われる国家試験により当該免許を取得する見込みの人を含む。)
短大・高専卒業程度試験	土木技師	若干名	昭和60年4月2日～平成11年4月1日生まれ (満20歳～33歳)	●学歴は問いません。

採用予定人員は、変更する場合があります。

試験の実施要項・申込書類は、市役所人事課で配布をしています。また、市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

行政(高校卒業程度・実務経験者・身体障がい者対象)、土木技師(高校卒業程度)、幼稚園教諭(短大卒業程度)、消防吏員(高校卒業程度)の試験は、9月に実施します。詳細については、広報いずも8月号(7月20日発行)でお知らせします。

総合医療センター(医療職)の試験については別途広報いずもでお知らせします。

◇おたずね/人事課 ☎21-6797



## 新副市長の紹介

ふじかわ まさひで  
**藤河 正英** (50歳)

就任日／平成30年4月1日

### 職歴

平成4年4月 農林水産省に入省  
同 農蚕園芸局種苗課  
平成6年9月 同 農蚕園芸局総務課  
平成7年4月 農林水産技術会議事務局振興課  
平成8年5月 同 先端研究課民間研究対策室係長  
平成9年2月 農林水産省大臣官房企画室技術調整室係長  
平成11年9月 科学技術庁科学技術振興局研究振興課専門職  
平成13年1月 農林水産省関東農政局農産課課長補佐(土地利用型農業)  
平成14年7月 同 経営局女性・就農課課長補佐(就農推進班担当)  
平成17年4月 同 消費・安全局農産安全管理課課長補佐  
(組換え体企画班担当)  
同 生産局特産振興課課長補佐(加工第1班担当)  
平成20年8月 同 生産局生産流通振興課課長補佐(加工第1班担当)  
平成21年1月 同 大臣官房政策課課長補佐(政策研究推進班担当)  
平成22年4月 同 消費・安全局農産安全管理課課長補佐(総括)  
平成25年7月 同 生産局農産部技術普及課課長補佐  
(総括及び総務班担当)  
平成27年4月 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課技術  
戦略企画官 兼同課成果普及・連携推進室長  
平成28年8月 農林水産省生産局農産部技術普及課付  
12月 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
食農ビジネス推進センタープロジェクトプランナー  
現在に至る



のぐち たけひと  
**野口 武人**  
(前副市長)

## 副市長退任のごあいさつ

この3月末をもちまして副市長を退任し、農林水産省へ戻ることになりました。この3年の間、充実した日々を送ることができましたこと、心から感謝を申し上げます。今、出雲市では、少子高齢化、地域

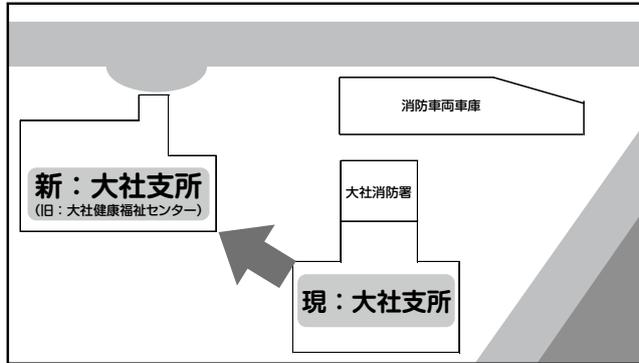
間のアンバランスといった大きな課題を抱えています。これらの課題の解決に向けては息の長い取組になるでしょうが、出雲の皆さまのパワーと自分たちの地域は自分たちで良くしていこうという思いがあれば、必ずや乗り越えられると信じています。これからは、出雲の応援団の一員として、皆さまの活動を応援できたらと思っています。最後になりますが、出雲市のますますのご発展と市民の皆さまのご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

# 出雲市役所大社支所庁舎の移転について

支所庁舎の老朽化等に伴い、大社支所を隣接の「旧大社健康福祉センター（通称：燦ブラザたいしゃ）」に移転し、新たに「出雲市役所大社支所」とします。

**業務開始予定日 5月7日(月)**

**【移転場所】 出雲市大社町杵築南1395番地 ⇒ 出雲市大社町杵築南1397番地2**



- ★大社支所市民サービス課の直通電話 地域振興係【☎53-4444】 産業建設係【☎53-4442】  
市民生活係【☎53-3115】 健康福祉係【☎53-3116】
- ★土地改良区の事務所についても同時に移転します。(移転先：旧大社健康福祉センター2F)
- ★大社消防署については、当面は現在の所在地のまま業務を行います。

おたずね／管財契約課 ☎21-6796 大社支所市民サービス課 ☎53-4444

OH!

## 地産地消コーナー まいがな出雲!

地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい! 地元食材や生産者に親しみをもってもらい、地域への愛着を深めてほしい! どの思いで、いろいろなお情報をお届けします。

### Vol.25 学校給食での地産地消

今月の担当 農業振興課 ☎21-6557 学校給食課 ☎28-0062

みなさんが子どもの頃にはどんな給食を食べていましたか? 現在、学校給食では、栄養バランスのとれた献立が考えられているのはもちろんのこと、子どもたちに地元産の食材を食べてもらおうと、地産地消の推進にも積極的に取り組んでいます。

市内に6か所ある給食センターで調理される給食は、1日にあわせて約17,500食!

このため、給食センターでは大量の食材を調達する必要がありますが、物によっては、地元での生産量が充分に無く、必要数量を確保できないことがあります。また、調理時間に制約があることから、下処理が必要な食材は使用が限られるなど、全てを地元産でまかなうのは難しいのが現実です。しかし、そうした中でもできるだけ地元の食材を使おうと、毎月、関係者による「マッチング会議」が行なわれています。今月はその様子をご紹介します。

#### ◎マッチング会議とは

マッチング会議は平成27年度にスタートしました。主に野菜に関して、食材を使用する給食センターと、供給する側の地元卸売市場やJAとの間で情報交換



マッチング会議の様子

が行われています。

学校給食では、およそ2か月前から献立を考えるため、どの食材がいつ多量に出荷されるようになるのを知ることが、旬の地元食材の使用とスムーズな食材調達に役立っています。以前には、まだ量があまり出回っていない食材が発注され、供給側が必要数をそろえるのに苦労する、ということもしばしばありました。会議が行われるようになってからはこうしたこともなくなり、地元産食材の使用割合も向上しています。(H26: 市内産 49.9%、県内産 56.2% → H29: 市内産 55.8%、県内産 63.4%)

#### ◎おいしい出雲の一日

また、各給食センターでは、毎月1回「おいしい出雲の一日」を設け、地元食材をたくさん取り入れた献立を実施しています。地元の食材をおいしく食べることで子どもたちに親しみを持ってもらい、家庭でも地産地消の話題が広がると思いますね!



出雲学校給食センターの「おいしい出雲の一日」献立(H30.2.14) ごはん、牛乳、豚肉の香味焼き、大根サラダ、神西湖のしじみ汁